

令和6(2024)年度事業報告書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

特定非営利活動法人 女性人権機構

I 令和6年度の総括

(特非)女性人権機構(以下、女性人権機構)の令和6年度の活動は令和5年度に引き続き、「女性の政治参画」に」焦点を当て、読書会(令和6年10月)とシンポジウム(令和7年3月)を柱として活動を行った。読書会では日本の民主主義の根幹を支える選挙制度について包括的な理解を深めた。シンポジウムでは、女性の政治参加を阻む「議員、候補者へのハラスメント」をとりあげ、研究者、支援者、現場という3方向から議論を深めることができた。また、ホームページも当初やり残したことに修正を加えながら、女性人権機構のプラットフォームとして完成させた。

II 事業の実施に関する事項

(1) 国内外の女性の人権及び女性に対する暴力等に関する国際会議、シンポジウム等の開催及び協力に関する事業

① 秋の読書会「私たちは政治をあきらめない 著者と一緒に『政治を再建する、いくつかの方法』を考える」

- ・ 日時: 令和6年10月29日(火)19時~20時半
- ・ 対象: 一般市民、関係諸団体、学術関係者、メディア
- ・ 方法: オンライン方式・無料
- ・ シンポジスト: 大山礼子氏(駒澤大学名誉教授)
- ・ モデレーター: 山口慧子氏((公財)市川房枝記念会女性と政治センター理事)
- ・ 参加者: 31名(申込者59名)
- ・ 経費: ¥61千円

② シンポジウム2025 「ハラスメントのない議会へ ~女性の政治参加を加速するために」

- ・ 日時: 2025年3月26日(水)19時~20時半
- ・ 対象: 一般市民、関係諸団体、学術関係者、メディア
- ・ 方法: オンライン方式・無料
- ・ シンポジスト: 内藤忍氏((独)労働政策研究所研修機構副主任研究員)
濱田真里氏(Stand by Women 代表、女性議員のハラスメント相談センター共同代表)
金繁典子氏(愛媛県愛南町議員)
- ・ 参加者: 約64名(申込者99名)
- ・ 経費: ¥102千円

(2) 国内外の人権及び女性に対する暴力等に関する広報啓発事業

● ホームページの充実

トップページに女性人権機構の提供する情報を配置する、2019年以前の活動を「過去の活動」で括る、イベント日付を西暦で統一する等の整備を行った。

- ・ 費用：283千円